



花崎北小学校だより

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

令和6年度

9月号

児童数218名

「光る」

校長 藤井 真仁

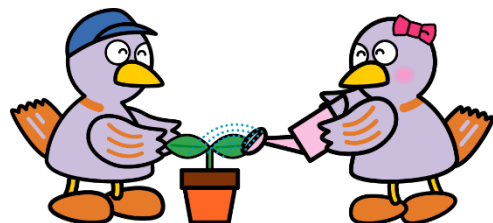
今年の夏も「猛暑日最長記録更新」といった高温に関するニュースを毎日のように目にしました。

「日光を浴びると、セロトニンやビタミンDなどを生成され、体と心に良い影響を与えてくれる」と言われますが、「危険な暑さ。不要不急の外出は控えるように」とテレビやラジオから聞こえてくると、太陽の下で体を動かすことが好きな私でも、躊躇してしまいました。

これを書いている今日の予想最高気温は、31度。31度くらいだと涼しいような気がしてしまいます。秋まで、もう少し（と思いたい）。

さて、今夏を振り返ると、様々な「光」が思い出されます。

例えば、1学期末にこども達が大切に育てていた朝顔やトマト。一人一人が毎朝じょうろで水をあげていましたが、葉の上や花の中に留まった水玉が朝日を浴びて光る様子は、とても清々しいものでした。



その他には、例年以上に多かった雷。遠くで暗闇を切り裂く稲光は美しく感じますが、頭上で光った直後に停電になったことが数回あり、その時は疎ましく思いました。

そして、「光の都」パリで開催されたオリンピック。連日、深夜まで、または早朝からテレビにかじりつき、選手達の活躍からパワーをもらっていました。特に印象に残っているのは、スケートボード男子の堀米選手と体操の男子団体です。どちらも奇跡の大逆転勝利。最後まで諦めないことの大切さを再認識しました。また、選手の胸でキラリと光るメダル、勝者や敗者の目に光る涙、感動の連続でした。

いよいよ2学期がスタートしました。

こども達には、夏休み中の様々な経験や楽しかった思い出を、今後の学校生活に十分に生かしてほしいです。

2学期は期間も長く、行事等もたくさんあります。こども達が勉強や運動に、主体的にそして粘り強く取り組むことで、一人一人が大いに光り輝く2学期になることを期待しています。

保護者・地域の皆様、引き続き温かいご支援ご協力をよろしくお願いします。

この夏は、大河ドラマ「光る君へ」の舞台となった滋賀県大津市の石山寺に行ってきました。ドラマでは、いよいよ源氏物語の執筆が始まりました。

「いづれの御時にか…」の書き出しで知られていますが、紫式部が新しい物語を作るために石山寺を訪れていた際、琵琶湖の湖面に映る十五夜の月を見て、都から須磨の地に流された貴公子が月を見て都を恋しく思う場面を構想し、「今宵は十五夜なりけり…」と書き出したのが『源氏物語』の始まりと言われているそうです。

石山寺は月の名所です。いつか秋の夜に再訪し、月を見上げてみたいと思います。（清少納言は、「夏は夜。月のころはさらなり…」と著しましたが……）